

事業番号	10 03 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材需給体制整備事業		部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
			実施期間	S60～	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 木材需要が低迷するなかで、県内の木材産業の体質を強化するため、木材製品の生産及び流通の円滑化・効率化を図り、安定的な生産を行う事業体を育成する必要がある。 【目指す姿】 県産材を効率的・安定的に供給する基盤づくりや木質バイオマスエネルギーの利用促進を図る体制を整備して、森林資源を有効に活用することにより、地域を支え持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。 【実施内容】 ・木材事業者への運転資金の低利融資 ・木材加工流通施設・木質バイオマス供給利用施設の整備への支援など																											
	指標及びその達成状況																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分(単位:千円)</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度繰越</td> <td>29,222</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>現計予算</td> <td>337,263</td> <td>497,874</td> </tr> <tr> <td>合計(A)</td> <td>366,485</td> <td>497,874</td> </tr> <tr> <td>うち一般財源</td> <td>2,132</td> <td>2,136</td> </tr> <tr> <td>決算額(B)</td> <td>335,332</td> <td>469,963</td> </tr> <tr> <td>職員数(人)</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>				区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	前年度繰越	29,222	0	現計予算	337,263	497,874	合計(A)	366,485	497,874	うち一般財源	2,132	2,136	決算額(B)	335,332	469,963	職員数(人)	4.8	4.8		
区分(単位:千円)	H30年度	R1年度																										
前年度繰越	29,222	0																										
現計予算	337,263	497,874																										
合計(A)	366,485	497,874																										
うち一般財源	2,132	2,136																										
決算額(B)	335,332	469,963																										
職員数(人)	4.8	4.8																										
No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況																						
1	素材(木材)生産量(千m ³)	541	540 ↘	564 ↗	628	未達成																						
2	県内の製材品出荷量(千m ³)	116	96 ↘	96 →	131	未達成																						
3	木質バイオマス生産量(千m ³)	59	55 ↘	75 ↗	120	未達成																						
4																												
成果指標設定理由	1 県内の林業生産活動を把握するための指標 2 県内製材工場の製材・加工状況を把握するための指標 3 県内の木質バイオマスの利用状況を把握するための指標 目標値は、しあわせ信州創造創造プラン2.0の年度別目標値を記載																											
達成状況の分析	・素材生産量と木質バイオマス生産量の指標は近年増加傾向で推移しているが、製材品出荷量は前年と同量であり、いずれの指標も目標値に対して未達成となった。 ・目標未達成の理由として、素材生産量とバイオマス生産量は、林業技術者の増加が目標を下回っていることに加え台風19号の影響により林道等素材搬出路が被災したことにより素材生産が滞ったこと。また、製材品出荷量は、信州F・POWERプロジェクトの販路拡大の遅れ等により前年並みとなったことが考えられる。																											

主な取組	✓ 県産材を製材・加工する施設整備への支援 低質材を梱包材に加工する製材施設の整備(1箇所) 製材品の品質確認のための検査機器の整備(1箇所)	 製材施設	 検査機器
	✓ 木質バイオマスを利用する施設への支援 木材をバイオマス燃料にするためのチップ加工施設の整備(1箇所) 木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器の整備(ボイラー3台、ストーブ30台)	 チップ加工施設	 ペレットストーブ

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	本県の森林資源の成熟に伴い、県内における素材生産量は増加傾向にあることから、県産材製品の出荷量や木質バイオマスの生産量をさらに拡大する必要がある。 県産材の加工・流通の体制整備と事業体の育成が必要 森林資源を余すことなく利用するため、チップ、ペレット、薪等の木質バイオマスの利用促進が必要	県産材製品の加工・流通施設や木質バイオマスの利用施設などの拡充を図る。 公共建築や住宅建築などに利用する県産材の加工・流通等の施設整備に対して引き続き支援する。 チップ、ペレット、薪など地域内で完結する比較的小規模なエネルギー利用を実現するため、木質バイオマスの供給・利用施設の整備に対して支援する。

事業番号 10 03 02 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	県産材需給体制整備事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	-------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	地域木材産業活性化推進事業	276,499 千円	276,474 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	木材産業等高度化推進資金貸付 農林漁業信用基金償還金	直接	木材産業者に対し低利の運転資金を供給し育成強化を図るため、資金源の預託を市中金融機関3者に対して実施。
2	木材市況等調査費	直接	木材産業の状況把握のために、木材市況調査（月1回）、木材流通調査（年1回）を実施。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	木材産業成長産業化促進対策事業	58,833 千円	193,489 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	木材加工流通施設整備費	補助金	県産材の加工流通を行っている2者の施設整備に対して支援。
2	木材バイオマス利用促進施設整備費	補助金	木質バイオマスの利活用を行う4者の施設整備に対して支援。